

単
元
名

～日本の歴史や文学との関わりを知る～

「西洋美術史の年表をつくろう！」

教科書出版社名（ 日本文教出版 ）

○ 中学校（ 2 ）年 教科等（ 美術・国語・社会 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

- ・制作（調べまとめる）を通して、作者の心情や表現の意図を時代背景なども含めて考え、見方や感じ方を深める力をつける。
- ・見る人にわかりやすく伝えるために、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練る力をつける。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

- ・多くの情報の中から、自分のテーマや制作に必要な内容を選び出し、まとめる力をつける。

○ 学校図書館等活用のポイント

- ・様々な時代の作品集や作家が紹介された本を準備し、生徒が「もっと知りたい」と、意欲的に活動に取り組めるようにする。
- ・社会の歴史とも関連させて調べる。

○ 学習の展開（全 14 時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第1次（☆）	<ul style="list-style-type: none">・美術史の流れを確認する。（復習）・班で調べる内容を決定する。・画用紙に下描き→伝達の効果と美しさとのバランスを考える。 （レタリング・絵画の模写・日本史や世界史との関連など）
第2次（☆）	<ul style="list-style-type: none">・西洋美術史の各時代における日本の美術や歴史の時代背景について調べる。 （社会）・西洋美術と日本文学との比較やつながりについて調べる。（国語）・下描きが終わった班から絵の具を使った制作に入る。・完成した班から発表の練習をする。
第3次	<ul style="list-style-type: none">・発表を行う。

(本時 1 2 / 1 4 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
伝えるための分かりやすい表現と美しさのバランスを考えて配色や構成ができるようになる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1.説明を聞いて学習内容を理解する。	
伝えるための分かりやすい表現と、美しさのバランスを考え、制作する。		
35	2.班で制作をはじめます。 ・伝達の効果と美しさの両方を考え、一つの画面に構成していく。 ・道具の特性を生かして、美しく表現していく。 ・以前調べた内容の情報がたりない場合は、再度調べ、情報量を増やす。	・複数の資料にある多くの情報から、必要な情報を選ぶ力をつけさせる。
3	3.班で相談しながら、ふり返りを行う。 ・めあてに対してのふり返りをする。 ・次時の制作に向けて班で役割分担や目標を考える。	
7	4.まとめと片付けをする。 ・次時の予定を知る。 ・片付ける。	

図書館活用
ポイント

